

図書館通信

平成28年5月26日(木)

第46号

千葉県立沼南高柳高等学校図書館

新年度初めての中間考査が終了し、ホッとしているところでしょうか!? “風薫る五月”ともいいますが、気候不順や寒暖差から体調をくずしやすい時期でもあると思います。「ちょっと疲れたなあ〜」「気分転換でもしたいなあ〜」…こんな時は、図書館に寄ってみませんか?

図書館に所蔵されている本や雑誌からはもちろん、休み時間であれば自分の意思で自由に利用出来る、居場所としての図書館や、窓から見えるのどかな風景からも癒されることがあります。…是非一度、オタメシアレ!!

◆◇なぜ本を読むといいのか?◇◆

こんな疑問を持ったことはありませんか? …

◆『本を読む人だけが手にするもの』 藤原和博(著) 日本実業出版社◇

著者は、2003年(平成15年)から5年間、東京都義務教育初の民間校長として話題になった人です。この本は、「なぜ本を読むといいのか」について考える本である…という【はじめのことば】から始まり、

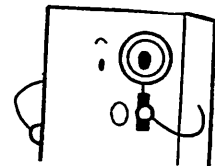
第1章【本を読むと、何が得か?】

第2章【読書とは「他人の脳のかげら」を自分の脳につなげること】

第3章【読書は私の人生にこんなふうに役立った】

第4章【正解のない読書を切り拓く読書】

第5章【本嫌いの人でも読書習慣が身につく方法】



付録として著者がこれだけは読んでほしいと思う本・50冊も紹介。

…どの章から読んでも、読書について考えるきっかけになるのではないかと思います。読後は、本を読まずには居られなくなるかも!?…(笑)

～読みたい 知りたい 癒されたい～

そうだ ☆☆ 図書館に行こう!

